

函館工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	近代文学講読	
科目基礎情報							
科目番号	0523			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	生産システム工学科			対象学年	5		
開設期	前期			週時間数	1		
教科書/教材	中島敦『李陵・山月記』（新潮文庫）、国語辞典等（必要なものは授業中に指示する）						
担当教員	鳴海 雅哉						
到達目標							
1. 文学作品を読み、内容を理解することができる。 2. 「行間を読む」ことができる。 3. 文学作品に興味を抱くことができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	文学作品の内容を深く理解し、感想を言うことができる。			文学作品の内容を理解することができる。		文学作品の内容を理解することができない。	
評価項目2	「行間を読む」ことができ、作品を深く味わうことができる。			「行間を読む」ことができる。		「行間を読む」ことができない。	
評価項目3	文学作品に興味を抱くことができ、他の作品を読もうとすることできる。			文学作品に興味を抱くことができる。		文学作品に興味を抱くことができない。	
学科の到達目標項目との関係							
函館高専教育目標 D							
教育方法等							
概要	中島敦の作品を読み、彼の文学のおもしろさと奥深さについて講義する。加えて、内容理解のための時代背景等の解説も加える。基本的には中国古典の世界について話すこととなる。						
授業の進め方・方法	基本的には、「事前に各自で読解」⇒「授業で解説」⇒「受講生に内容を確認」⇒「課題提示」⇒「次時で課題チェック、各自で読解」というサイクルで進めていく。						
注意点	事前に内容を理解していないと授業が理解できないので、時間を見つけて積極的に読解を進めてほしい。 J A B E E 教育到達目標評価：定期試験60%(D-1)、小テスト20%(D-1)、課題18%(D-1)、ポートフォリオ2%(D-1)						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス、中島敦について		授業の進め方等がわかる。中島敦について理解できる。		
		2週	「弟子」		授業内容を理解できる。		
		3週	「弟子」		授業内容を理解できる。		
		4週	「弟子」		授業内容を理解できる。		
		5週	「弟子」		授業内容を理解できる。		
		6週	「弟子」、小テスト①		授業内容を理解できる。		
		7週	「弟子」		授業内容を理解できる。		
		8週	前期中間試験				
	2ndQ	9週	答案返却・解答解説		試験内容を理解できる。		
		10週	「名人伝」		授業内容を理解できる。		
		11週	「名人伝」		授業内容を理解できる。		
		12週	「李陵」		授業内容を理解できる。		
		13週	「李陵」、小テスト②		授業内容を理解できる。		
		14週	「李陵」		授業内容を理解できる。		
		15週	前期期末試験				
		16週	答案返却・解答解説		試験内容を理解できる。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	小テスト	課題	態度	ポートフォリオ		合計
総合評価割合	60	20	20	0	0	0	100
基礎的能力	40	10	10	0	0	0	60
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	20	10	10	0	0	0	40